

石井西地区社会福祉協議会では、色々な研修会や行事に参加しました！

協力会員研修会

6月29日（日）和泉南集会所において、和泉南と和泉北地区の協力会員が集まり、第1回協力会員研修会を行いました。

助け合いカードを使ったゲーム形式で、協力会員とはどういったことをするかより理解を深めました。



地区社協 第2ブロック研修会

（久米・久谷・浮穴・小野・石井東・石井西）

8月21日（木）松山市鷹子老人福祉センターにおいて、松山市民病院 院長 柚木 茂氏を講師に「アンチエイジングと食事」と題した研修会に参加しました。長寿であるためには、「フレイル」「サルコペニア」を予防し、健康な食事（和食は長寿の理想食）と筋トレも必要です。食べ過ぎに気を付け、何時までも元気で家族・社会のために人生を送りましょうと話されました。

サマーフェスティバルに参加！

8月23日（土）、今年で4回目の石井地区サマーフェスティバルが開催され、石井西社協もかき氷、輪投げのブースを出店しました。

今年も猛暑の中、準備など大変でしたが、かき氷・輪投げコーナーにたくさんの方が来てくださいました。皆様ありがとうございました♪



▲狙いを定めて～

▼今年も輪投げコーナーの
光るおもちゃは大人気！



令和7年度松山市福祉大会

9月4日（木）約800人の民生児童委員が市民会館に集まり、松山市福祉大会に参加しました。石井西地区からは、15名の方が表彰されました。

松山市長表彰 民生委員・児童委員功労者

阿部悦美さん、上田吉昭さん、大河内八千代さん、岡部 豊さん、佐伯幸三さん、長尾 力さん
西口多恵子さん、丸井圭子さん、矢野幸江さん、山下鈴子さん、山之内 通さん

地域福祉活動功労者

西岡みどりさん、吉岡清美さん

松山市社会福祉協議会会長表彰 ボランティア活動功労者 梶谷政雄さん、藤岡京子さん



編集後記

福祉だより89号をお届けします。今年も暑い夏でしたが、朝晩涼しくなり、新米がおいしい季節となりました。昨年の夏から「令和の米騒動」が始まり、価格の高騰から備蓄米やカリフォルニア米なども食していましたが、やはり新米はおいしいですね。価格の方は、相変わらず高値ではありますが、生産者の皆さんに感謝して味わいたいです。

本誌に関するお問い合わせは、 石井西地区社協会長（高市宅）まで
Eメール：nisisyakyu30925@gmail.com

～石井西 やすらぎの町 愛の町～

石井西の福祉だより

第89号（令和7年11月1日発行）

石井西地区人口 28,534人
男 13,534人
女 15,000人
65歳以上 7,518人
高齢化率 26.35%
（令和7年4月1日現在）

発行所：石井西地区社会福祉協議会

第3回♡夏休み企画・親子防災講座『楽しく学ぼう！防災ゲーム』を実施！

令和7年7月22日（火）、今年も小学生の子どもたちや家族の皆さんに、防災ゲームで「防災」について学んでいただきました。古川集会所2階では、「救出大作戦ゲーム」を実施。がれきに埋もれたぬいぐるみを、みんなで協力して救出し、竹2本と毛布を使った搬送の仕方や注意することなど松山南消防署員の皆さんが教えてくださいました。また、骨折や外傷、出血を想定して、サランラップやネクタイ、新聞紙やレジ袋を使って応急手当の仕方を教えてもらったり、新聞スリッパで足つぼマットの上を走行するタイムトライアルなどに挑戦しました。1階では、小さいお子さん対象に「ぼうさい DUCK」で、安心安全の「最初の第1歩」を学びました。



▲ 力を合わせて救助開始！



▼ 安全な所へ搬送します！



▲ 骨折したときは、うでを固定して！

ふれあいセンターでは、災害時に役立つちょっとしたアイデアとして新聞紙で作る食器作りや100ccのお湯でホットタオル作りに挑戦。また、防災カードゲーム「シャッフル」は、「いざ」という時に役立つ防災知識や災害時に役立つ感染症対策など、このゲームを通じて、具体的な災害対応の知識を自然な形で身につけることができます。山札となる防災知識の関連カードを4枚集め、その4枚を正しく並べることができればポイントチップをゲット。子どもたちは、カードを並べかえたり、交換したり、みんなで楽しく「シャッフル」していました。

猛暑の中、182名の皆様にご参加ご協力いただきました。ありがとうございました。

▼ 熱くなってる～



水消火器、発射！ ▶

◀ どのカードを
交換しようかな～



▲ 最後はツイストパンを楽しみました！

第4回『子育てパパ＆ママのためのオンライン防災講座』を開催

9月20日(土) 10:00から「子育てパパ&ママのためのオンライン防災講座」を実施しました。昨年も講師をしていただいた松山市市民防災安全課 奥宮啓介先生と、防災士で松山市乳幼児親子教室・女性限定リラクゼーションサロン「こまめハウス+」の石井けいこ先生にご協力いただき、『もしものときのために、子どもと一緒に備える防災』をテーマに乳幼児や児童がいる家庭特有の備蓄や適切な避難について教えていただきました。



今回の講座には、自宅から Zoom によるオンライン参加とサブ会場参加、合わせて34組の親子が参加しました。

パート1 やってみよう！ 防災チェック

ハザードマップを確認して、自分の住んでいる場所や家にどんな防災が必要か知ることが大切。避難先と避難経路は安全か、実際に歩いて確認しておきましょう。



パート3 プラスワン 防災アイデア！

- ① 子どものリュックを防災リュックとして活用しよう。
- ② 防災ポーチを作ってみよう！
いつも持ち歩いているポーチにプラスアルファ。
自分にとっての大事なものをプラス。
- ③ 家族の防災カードを作ってみよう！ 年度が替わる時に写真を変えよう。
- ④ こころの健康も大事。うんうんとうなずいてあげるだけでも OK！ お子さんの声に耳を傾け、話を聞いて抱きしめてあげましょう。



防災で大切なのは続けていくことです。お子さんと楽しく、できることから始めましょう！



講師の奥宮啓介先生と石井けいこ先生



パート2 塗り絵を使って防災リュック作りに挑戦！

今回は、ぬり絵をとおして「家族（親子）で防災について話すきっかけ」になればと生まれた「ぼうさい NURIE」を使って、「何を自分の防災リュックにいれるのか」など、色を塗りながら防災について考えていきました。

サブ会場やオンライン参加の皆さんにもカメラオンで塗り絵を披露してもらい、何をリュックに入れるのか発表してもらいました。



石井地区まちづくり協議会・福祉講座

7月3日(木)石井支所2階会議室と石井地区各分館をオンラインでつなぎ、西条市人権擁護課 広域隣保活動相談員の近藤 誠氏を講師に福祉講座が開催され、民生児童委員も参加しました。



「住み慣れた地域で安心して『生ききる』ために～笑顔とありがとうのあふれる故郷～」と題して実父の認知症などの介護体験から、認知症になった人と介護者について時に笑いを交えてお話しされ、皆さんメモを取りながら受講されていました。

長生きをしたら認知症になると理解しよう。認知症になっても、いつまでも父であり母であり続ける。認知症になっても居場所があり、やる事がある人生が生きがいとなる。心の中には、「認められたい、褒められたい、人の役に立ちたい」という「三匹のたい」がいるという話が残りました。

令和7年度子育て支援ネットワーク情報交換会に参加！

8月1日（金）石井支所2階会議室において、「児童委員としての活動を考える」会議が開催されました。今回は、例年参加している保育園の先生方や関連事業所の方々、主任児童委員に加えて石井東・西地区の児童福祉部会の民生児童委員も参加し「わたしの防災」をテーマにグループワークを行いました。普段、民生委員は高齢者を対象に防災について考えることが多いのですが、今回は保育園の先生方から災害時の園児の避難や保育園が避難所となった時の動きなど貴重な話をお聞きしとても参考になりました。



「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加しました！

9月は「世界アルツハイマー月間」。松山市社会福祉協議会では、今年も認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジでオレンジロードができました。石井西社会福祉協議会や椿小学校5年生の皆さんもメッセージカード作成に協力。4年生の時に認知症キッズサポーター養成講座に参加した児童のメッセージは、思いやりにあふれたすばらしいものでした。



華やかな飾り付け！



椿小学校5年生の皆さんにも参加いただきました。ありがとうございました！